

①学校名:	九州看護福祉大学 大学院(私立)		②所在地:	熊本県玉名市富尾888		
③課程名:	看護福祉学研究科健康支援科学専攻	④正規課程/履修証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2014/4/1	
⑥責任者:	看護福祉学研究科長 生野繁子	⑦定員:	8名	⑧期間:	2年間	
⑨申請する課程の目的・概要:	本専攻は高齢化が加速する地域社会に対し、「健康寿命の延伸」と健康支援(ヘルスプロモーション)の視点から、人の健康を支援できる優秀な人材養成を目指し、本学看護福祉学部リハビリテーション学科、鍼灸スポーツ学科、及び口腔保健学科を基礎として開設した大学院修士課程である。本専攻課程の特色は、健康の基本となる食すること(口腔機能支援科学分野)と身体を動かすこと(身体機能支援科学分野)の2分野からなる。口腔機能支援科学分野に関しては、2008年に我が国で初めて学士の学位が授与されるようになった口腔保健学をベースに構築されている。次に身体機能支援科学分野に関しては、健康支援・予防という命題に対して、西洋現代医学と東洋伝統医学の双方の観点から取り組むことで、これまでにない新しい発想で臨床実践できるような人材を育成するため、理学療法学と鍼灸学をベースに構築されている。本専攻では、この2分野を包括的に学修することで、健康支援に関わる高度の知識と技術を有する専門職、及び多職種間で専門職連携の構築をリードできる人材、指導者、研究者の養成を目的としている。					
⑩4テーマへの該当の有無	無	⑪履修資格:	・学校教育法第104条の規定により学士の学位を授与された者及び見込みの者 ・本大学院が認める者			
⑫対象とする職業の種類:	1)理学療法士、はり師、きゅう師、歯科衛生士、保健医療福祉領域(臨床、教育、行政)の仕事に従事している方 2)体育やスポーツなど健康領域の仕事に従事している方					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 1)「健康寿命の延伸」と「健康支援」を追求するための基礎的知識 2)チーム医療に必要な他職種の専門性の理解と専門職連携に必要な基礎知識 3)各専門分野(理学療法学、鍼灸学、口腔保健学)の最先端の知識と研究の基礎 4)総合的・学際的視点 5)研究者としての素養			(得られる能力) 1)各専門分野(理学療法学、鍼灸学、口腔保健学)における深い専門知識と高度な技術に基づいた臨床実践能力 2)各専門分野における臨床疑問を科学的視点で分析、解決できる臨床研究能力 3)健康支援の仕事に関わる多職種の専門職連携の構築をリードできる能力 4)地域社会の健康寿命延伸に貢献できる能力		
⑭教育課程:	カリキュラムは、1. 共通科目、2. 研究基盤科目、3. 臨床応用科目、4. 研究応用科目、そして5. 総合の5科目で構成されている。 1. 共通科目では、看護学専攻、精神保健学専攻、健康支援科学専攻に共通した内容や相互の専門以外の内容を共に学修できるように配置され、健康医学<科目>や健康支援科学通論<科目>により、包括的な視点で健康寿命の延伸や健康支援に必要な基礎知識を、医学、理学療法学、鍼灸学、口腔保健学等を専門とする実務家教員の講義を中心に修得する。 2. 研究基盤科目では、各専門分野(理学療法学、鍼灸学、口腔保健学)の研究を遂行するために必要となる定量的解析方法や計測方法やその分野の研究理解を深めるために必要な理論などを修得できるよう配置され、表面筋電図計測・解析論<科目>、生体運動・動作解析学<科目>により、最先端の表面筋電図やバイオメカニクスの知識と解析方法を修得する。呼吸機能調節評価学<科目>、生体酸素搬送システム評価学<科目>において、最先端の運動遂行に必要不可欠なエネルギー代謝の知識を修得する。東洋医学基礎理論<科目>において、最先端の統合医療の1つとしての鍼灸治療の知識を修得する。口腔疾患病態論<科目>、口腔疾患予防基礎論<科目>において、最先端の口腔疾患の病因・病態から予防法について修得する。脳形態機能解析学<科目>、病態生理学<科目>において、観察解剖及び生理学ベース等からみた最先端の医学の知識を修得する。 3. 臨床応用科目では、研究基盤科目と並行しながら、常に研究成果を臨床応用・応用するための示唆となりうる臨床実践的な科目が配置され、専門職連携応用論<科目>、介護予防フロンティア戦略論<科目>、内部障害フロンティア戦略論<科目>、身体機能制御論<科目>、口腔機能リハビリテーション論<科目>、口腔機能発達支援論<科目>、疾病予防支援論<科目>、和漢療法応用学<科目>において、教員と学生相互の積極的なディスカッションやグループ討議等を講義内で取り入れながら修得する。 4. 研究応用科目では、高度化、複雑化、多様化する健康支援科学の実践に対応するため、各専門分野の課題に対して、科学的根拠に支えられた基礎的理論とその応用を体系的に学べるような科目が配置され、身体運動機能支援科学特論・演習<科目>、呼吸・循環機能支援科学特論・演習<科目>において、身体機能予防支援科学演習<科目>、身体機能支援科学演習<科目>、身体機能病態生理学演習<科目>、応用口腔機能支援科学特論・演習<科目>、社会口腔機能支援科学特論・演習<科目>、発達口腔機能支援科学特論・演習<科目>において、実務家教員指導のもと研究、報告、討論を主体としたゼミナール形式で修得する。 5. 総合では、健康支援科学に関する研究活動の総括として、口腔機能支援科学分野と身体機能支援科学分野に関する研究を位置づけ、健康支援科学研究<科目>において、修士論文の作成過程を通して、問題解決能力と研究者としての素養を獲得する。					
⑮修了要件(修了授業時数等):	共通科目から1科目2単位以上、研究基盤科目から1科目2単位以上、臨床応用科目から1科目2単位以上、および各分野に関する研究応用科目(特論、演習)8単位と総合科目の研究支援科学研究8単位を含め30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査および試験に合格すること。					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	修士(健康科学)					
⑰総授業時数:	148	単位	⑱要件該当授業時数:	120	該当要件	実務家 双方 学地 ⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 81%
⑳成績評価の方法:	各科目の成績評価は、当該授業担当者によるレポート、発表、および試験等による。課程の修了に係る評価は、大学院研究科委員会で承認された3名以上の修士論文審査委員会の論文審査および最終試験(プレゼンテーションならびに口述試問)と、その審査結果を大学院専攻会議で報告し、その後、大学院研究科委員会の決議により可否の決定を行う。					
㉑自己点検・評価の方法:	毎年、入試状況、入学者の状況、修了者の状況をはじめ、本研究科が実施している各種就学支援制度(夜間開講制、土曜日開講制、長期履修制度、授業料減免制度、ティーチングアシスタント制度、田中基金、大学院学生研究費など)の利用状況等について自己点検・評価を行う。また、毎年、本専攻学生を対象に本専攻の教育課程に関する無記名のアンケートを実施し、学生からの評価を教育課程の改編と充実に向けた検討資料として活用する。 次に、毎年、自己点検・評価を報告書としてまとめ、本学近隣の公立玉名中央病院(案)、和水町立病院(案)及び本専攻の3者で構成される「大学院健康支援科学専攻の教育活動に関する協議会(仮称)」のメンバーに対して、協議会の開催1か月前を目途に提出する。そして、次年度の本専攻の活動に向けた改善策を協議する。そこで得られた意見は本専攻に持ち帰り、専攻会議にて改善策を検討し実行する。					
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	毎年、修了生を対象に本専攻の教育課程に対する無記名のアンケートを実施し学生からの評価を教育課程の改編と教育研究環境の充実に向けた検討資料として活用する。具体的には、①本専攻全般の教育内容について(教育課程の内容、教育研究環境の改善点の要望等)、②共通科目全体について、③研究基盤科目全体について、④臨床応用科目全体について、⑤研究科目全体について、⑥自身の大学院生としての学修について(満足度等)、自由記述方式で回答を得る。					
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 公立玉名中央病院(予定)、和水町立病院(予定)及び本大学院専攻の3者による教育課程の編成の検討や取組に関する評価を行う組織「大学院看護福祉学研究科の教育活動に関する協議会(仮称)」を設置し、年に1回、定期的開催する。 (自己点検・評価) 公立玉名中央病院(予定)、和水町立病院(予定)及び本大学院専攻の3者による教育課程の編成の検討や取組に関する評価を行う組織「大学院看護福祉学研究科の教育活動に関する協議会(仮称)」を設置し、年に1回、定期的開催する。					
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間開講制、土曜日開講制、長期履修制度、授業料減免制度、ティーチングアシスタント制度、田中基金、大学院学生研究費					
㉕ホームページ:	(URL)http://www.kyushu-n.ac.jp/departments/graduate_school/					

事務担当者名:	山本亜希	所属部署:	九州看護福祉大学総務課企画係
連絡先:	(電話番号) (E-mail)	0968-75-1800 office@kyushu-nn.ac.jp	

- *パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- *様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。